

# 未来を拓く 観光みえシンポジウム

観光産業は、地域経済の活性化・雇用の創出を図るうえで重要な役割を果たしています。三重県が今後めざす「産業としての観光」を確立していくためには、マーケティングや民間と行政の役割分担の明確化、地域独自の観光資源の再発見と活用による新たな価値の創造等に取り組む必要があります。

本シンポジウムでは、三重県観光の発展を担う多くの関係者の方々と、情報・データに裏づけられた観光マーケティングや地域の特性を生かした新たな魅力づくりの重要性について理解を深めていきたいと考えています。



日時

平成24年 **3月9日(金)**

13:15～16:30(12:45開場)

会場

三重県庁講堂

参加費  
無料

## プログラム

ごあいさつ

三重県知事 鈴木 英敬 (13:15～13:20)

基調講演 (第1部) **「効率的・効果的な観光行政のあり方」** (13:20～14:20)

講師 首都大学東京 教授 本保 芳明氏 (前観光庁長官)

(第2部) **「きらりと輝く地域の魅力再発見！」** (14:20～15:00)

講師 場所文化プロデューサー 後藤 健市氏

(休憩10分)

鼎談

**「未来を拓く観光みえを考える」**

(15:10～16:30)

場所文化プロデューサー

後藤 健市氏

㈱日本総合研究所 上席主任研究員

矢ヶ崎 紀子氏

三重大学人文学部 准教授

石阪 督規氏



# 出演者プロフィール



首都大学東京教授  
(前観光庁長官)

## 本保 芳明氏

1949年小樽市出身。1974年東京工業大学大学院修了後、運輸省入省。(独)国際観光振興協会(JNTO)ジュネーブ事務所出向、経済協力開発機構(OECD)、国土交通省大臣官房審議官、同省大臣官房総合観光政策審議官などを歴任し、2008年に国土交通省観光庁長官就任、2010年首都大学東京教授就任、現在に至る。三重県観光審議会委員。



場所文化プロデューサー

## 後藤 健市氏

1959年帯広市生まれ。場所文化機構代表等。1986年に地元・帯広に戻り、社会福祉事業に携わり、同時に「食」を軸に据えた地域活性化に取り組む。帯広中心街活性化のけん引役となっている「北の屋台」や、郊外の景観を活用したレストラン、全国を連携した場所文化フォーラムの立ち上げ・運営などに取り組み、現在はアジアも含めて活動を展開している。みえ産業振興戦略検討会議委員。



(株)日本総合研究所  
上席主任研究員

## 矢ヶ崎 紀子氏

1963年生まれ。国際基督教大学卒業後、住友銀行にて銀行実務を経験し、1989年㈱日本総合研究所入社。地域経済活性化の調査研究業務および経営・新規業務コンサルティング多数実施。2008年観光庁設立と同時に参事官(観光経済担当)就任、2011年首都大学東京都市環境学研究所観光科学域特任准教授に就任。



三重大学人文学部  
准教授

## 石阪 督規氏

1970年東京都生まれ。広島大学大学院修了後、三重大学人文学部講師を経て現職に至る。2007年より三重大学キャリア支援センター長を兼任。専攻は社会学。地域づくり、男女共同参画、若者就業支援、NPO支援などの各種審議会、委員会の委員をはじめ、現在、三重県観光審議会会長、桑名市観光懇話会副座長なども務める。

お申込み・お問合せ

## 三重県観光局観光・交流室

〒514-8570 三重県津市広明町13番地  
TEL 059-224-2077 FAX 059-224-2482

担当 観光政策グループ 岡田・明石・森

## 未来を拓く・観光みえシンポジウム **参加申込書**【申込締切:平成24年3月6日(火)】

会社名・団体名			
連絡先電話番号		FAX番号	
所属名	参加者氏名		

# FAX:059-224-2482

(送付状は不要です。この用紙をFAX送信してください。)